

危険箇所を確認しておきましょう

「防災ハザードマップ」で自分の家や住んでいる地区が、どの程度浸水するのか、津波の危険があるか、土砂災害の危険箇所は近くにあるのかなどを確認しておきましょう。



避難場所を確認しておきましょう

自分の家の住んでいる地区が、どこに避難するのか確認しておきましょう。確認ができたなら「わが家の避難所」にしっかり記入しておきましょう。
※災害ごとに避難所が異なる地区があるので注意してください。



避難経路を確認しておきましょう

自分の家から避難所・一時避難所までの経路を決めておきましょう。「防災ハザードマップ」で危険箇所を確認して、安全に通行できる経路を選択しましょう。



災害時要援護者への手助けの準備しておきましょう

高齢者・障害者・子供・妊婦などの災害時要援護者は避難時に手助けが必要となります。自分の家や近所に災害時要援護者がいないかを確認し、いざという時に手助けができるように準備しておきましょう。



非常持出品を準備しておきましょう

いざという時のために、非常持出品をそろえ、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。非常持出品チェックリストを参考にしながら家族で準備しておきましょう。



1	乾パン	<input type="checkbox"/>	15	救急袋	<input type="checkbox"/>
2	飲料水	<input type="checkbox"/>		毛抜き	<input type="checkbox"/>
3	懐中電灯	<input type="checkbox"/>		消毒薬	<input type="checkbox"/>
4	ローソク	<input type="checkbox"/>		脱脂綿	<input type="checkbox"/>
5	ライター	<input type="checkbox"/>		ガーゼ(滅菌)	<input type="checkbox"/>
6	携帯ラジオ	<input type="checkbox"/>		救急ばんそうこう	<input type="checkbox"/>
7	万能はさみ	<input type="checkbox"/>		包帯	<input type="checkbox"/>
8	軍手・手袋	<input type="checkbox"/>		三角巾	<input type="checkbox"/>
9	ロープ	<input type="checkbox"/>		マスク	<input type="checkbox"/>
10	常備薬・持病薬など	<input type="checkbox"/>	16	トイレトペーパー	<input type="checkbox"/>
11	レジャーシート 2畳	<input type="checkbox"/>	17	ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/>
12	簡易トイレ	<input type="checkbox"/>	18	ガムテープ(布製)	<input type="checkbox"/>
13	タオル	<input type="checkbox"/>	19	油性マジック(太)	<input type="checkbox"/>
14	ポリ袋	<input type="checkbox"/>	20	筆記用具	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	21	サランラップ	<input type="checkbox"/>

地域で防災について話し合っておきましょう

日頃から防災について話し合い、災害が発生した時に、情報の収集、初期消火、救出、救助などの助け合いや協力し合うことが減災につながります。



洪水・強風対策をしておきましょう

台風や大雨は、襲来時期や規模をある程度予測できるので、気象情報を気にかけて対策をしておきましょう。

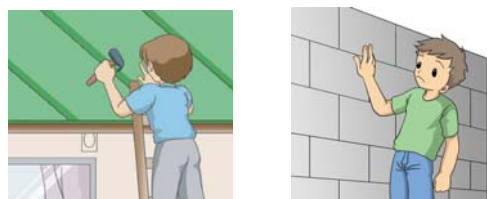
- 下水溝のゴミや泥を除き、水はけを良くしておきましょう。
- 煙突やアンテナなどは、支線を張り補強しておきましょう。



- ベランダにある植木鉢など飛ばされる危険が高いものは、室内に取り込みましょう。



- 屋根、外壁、窓ガラス、ブロック塀などは日頃から点検して、不備な箇所は補修しておきましょう。



気象庁が発表する注意報・警報を知っておきましょう

① 発表区域

気象に関する発表
「佐呂間町」
(平成22年5月～)

地震に関する発表
「北見地方」
(平成22年4月～)

津波に関する発表
「オホーツク海沿岸」

② 注意報発表基準(平成22年1月現在)

注意報名	内容
強風(平均風速)	陸上12m/s,海上15m/s
風雪(平均風速)	陸上10m/s,海上15m/s (雪による視程障害を伴う)
波浪(有義波高)	3m
高潮(潮位):TP上	網走0.9m (0.7m 平成22年5月～) (1時間雨量)30mm(3時間雨量)50mm (土壌雨量指数 ^{※1}) 79
大雨	(流域雨量指数 ^{※2}) 佐呂間別川流域:11 仁倉川流域:4 (佐呂間別川流域:13 仁倉川流域:6 平成22年5月～)
洪水	
大雪	12時間降雪の深さ 25cm

※1 「土壌雨量指数」とは…降った雨が土壌中に水分量としてどれだけ貯まっているかをモデルを用いて計算によって指数化したもの。
※2 「流域雨量指数」とは…河川の流域に降った雨水がどれだけ下流の地域に影響を与えるかを流出過程と流下過程の計算によって指数化したもの。

③ 警報発表基準(平成22年1月現在)

警報名	内容
暴風(平均風速)	陸上20m/s,海上25m/s
暴風雪(平均風速)	陸上18m/s,海上25m/s (雪による視程障害を伴う)
波浪(有義波高)	6m
高潮(潮位):TP上	網走1.3m (1.1m 平成22年5月～)
大雨	(1時間雨量)平坦地50mm 平坦地以外60mm (土壌雨量指数 ^{※1}) 113
洪水	(流域雨量指数 ^{※2}) 佐呂間別川流域:17 仁倉川流域:7
記録的短時間大雨情報	(1時間雨量)90mm
大雪	12時間降雪の深さ 40cm

雨の強さと予想される被害を知っておきましょう

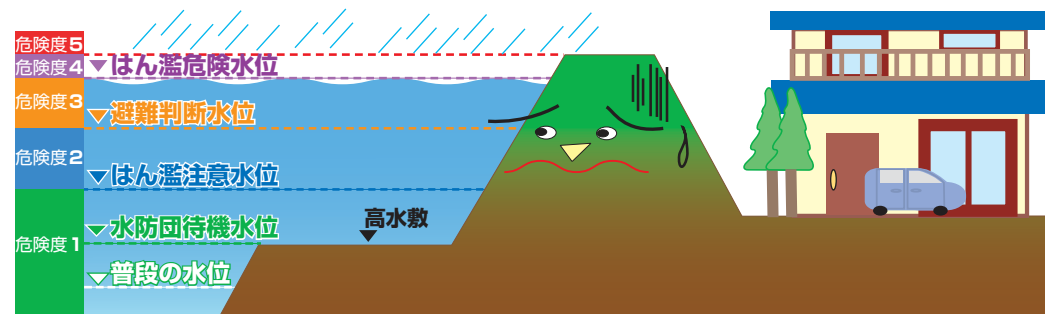
1時間の雨量	予報用語	屋外の様子	予想される状況・被害
10mm～20mm未満	やや強い雨	地面一面に水たまりができる	この程度の雨でも長く続く場合は注意が必要。 傘をさしていても濡れる。側溝や下水、小さな川が あふれ、小規模のがけ崩れが始まる。
20mm～30mm未満	強い雨	道路が川のようになる	山崩れやがけ崩れが起きやすくなる。 下水道管から雨水があふれる。
30mm～50mm未満	激しい雨	水しぶきであたり一面が白っぽく なり視界が悪くなる	地下室に雨水が流れ込む場合がある。 土石流が起こりやすくなる。 大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒 が必要となる。
50mm～80mm未満	非常に激しい雨		
80mm以上	猛烈な雨		

風の強さと予想される被害を知っておきましょう

平均風速(毎秒)	予報用語	予想される状況・被害
10m～15m未満	やや強い風	取り付けの悪い看板やトタンが飛び始める。
15m～20m未満	強い風	ビニールハウスが壊れ始める。
20m～25m未満	非常に強い風	シャッターが壊れ始める。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。
25m～30m未満		ブロック塀が壊れ始める。立っていられなくなる。
30m以上	猛烈な風	屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる。

河川の水位から洪水の危険度を知っておきましょう

大雨の影響で河川の水位が上昇し、はん濫します。雨の降り方や住んでいる地域で異なりますので気象情報や避難情報に注意し避難の準備をしましょう。



水位はインターネットで「**テレメータ水位佐呂間別川**」で検索すると確認することができるので、河川に近づいてはいけません。

危険度5	川から水が溢れてきます。	無理に避難せず、自宅等の2階に避難し救助を待ちましょう。
危険度4	川がはん濫する恐れがあります。	これまでには避難を終えましょう。
危険度3	避難判断水位を超えています。	避難を始めましょう。
危険度2	普段よりかなり増水しています。	避難の準備をしましょう。(要援護者の方は避難を始めましょう。)
危険度1	川の水位が上昇する恐れがあります。	テレビやラジオ、インターネットなどの情報に注意しましょう。

土砂災害の特徴を知っておきましょう

● 雨に注意しましょう

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。



● 土砂災害警戒情報に注意しましょう

大雨による土砂災害発生危険度が高まったときに、気象庁から発表されます。発表されなくても、斜面の状況に注意し、前ぶれ現象に気づいた場合には、速やかに避難してください。

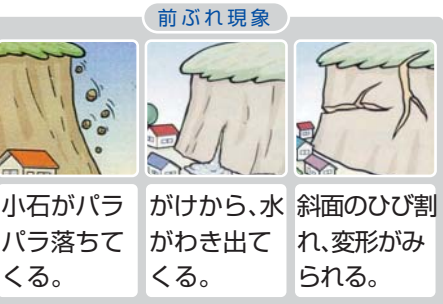


● 前ぶれ現象に注意しましょう

次のような現象に気づいた場合は、土砂災害が発生する可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることを「がけ崩れ」といいます。がけ崩れは、突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなっています。



土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものを「土石流」といいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20km~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面の下の方に移動する現象のことを「地すべり」といいます。土の量が多いため、大きな被害が出ます。また、一度動き出すと、完全に停止させることは非常に困難です。雨だけの原因ではないため、発生の予測は難しいです。



津波の特徴を知っておきましょう

● 津波は繰り返し襲ってきます。津波警報や注意報が発表されたら解除されるまで海岸に近づいてはいけません。

● 津波は陸上を駆け上がり、家や車をさらっていくほどの破壊力を持っていくことがあります。

● 津波は突然襲ってくることもあります。必ず引き潮から始まるものではありません。

● 津波は海岸付近の浅いところで急激に高くなります。海岸で津波が見えてからでは、逃げ切れません。

津波情報が発令！その時、とるべき行動！！

● 強い地震（震度4程度）を感じたときや、弱い地震が長い時間ゆっくりと感じたときは直ちに海浜から離れ、急いで高台などの安全な場所に避難しましょう。

● 地震を感じなくても、津波警報が発表されたら直ちに海浜から離れ、急いで高台などの安全な場所に避難しましょう。

● 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで高台の安全な場所に避難を続けましょう。

● 地震後は噂やデマに惑わされず、正しい情報に基づいて行動しましょう。

津波情報が発表される津波の高さ

津波警報(大津波)	3m, 4m, 6m, 10m以上
津波警報(津波)	1m, 2m
津波注意報	0.5m

気象・災害情報の入手方法を知っておきましょう

テレビ・ラジオ以外でもインターネットや携帯電話から情報入手することができます。

① 防災気象情報

(気象警報・注意報、台風情報、洪水予報、土砂災害警戒情報、地震情報など)

- 気象庁 (パソコン用) <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- 網走地方気象台 (パソコン用) <http://www.jma-net.go.jp/abashiri/>

② 河川情報

(雨量、水位、洪水予報など)

- 国土交通省 川の防災情報 (パソコン用) <http://www.river.go.jp/>
- (携帯電話用) <http://i.river.go.jp/>

③ 防災情報

(気象情報、避難情報、道路情報、河川情報など)

- 北海道防災情報 (パソコン用) <http://www2.bousai-hokkaido.jp/pc/>
- (携帯電話用) <http://www.bousai-hokkaido.jp/mobile/>

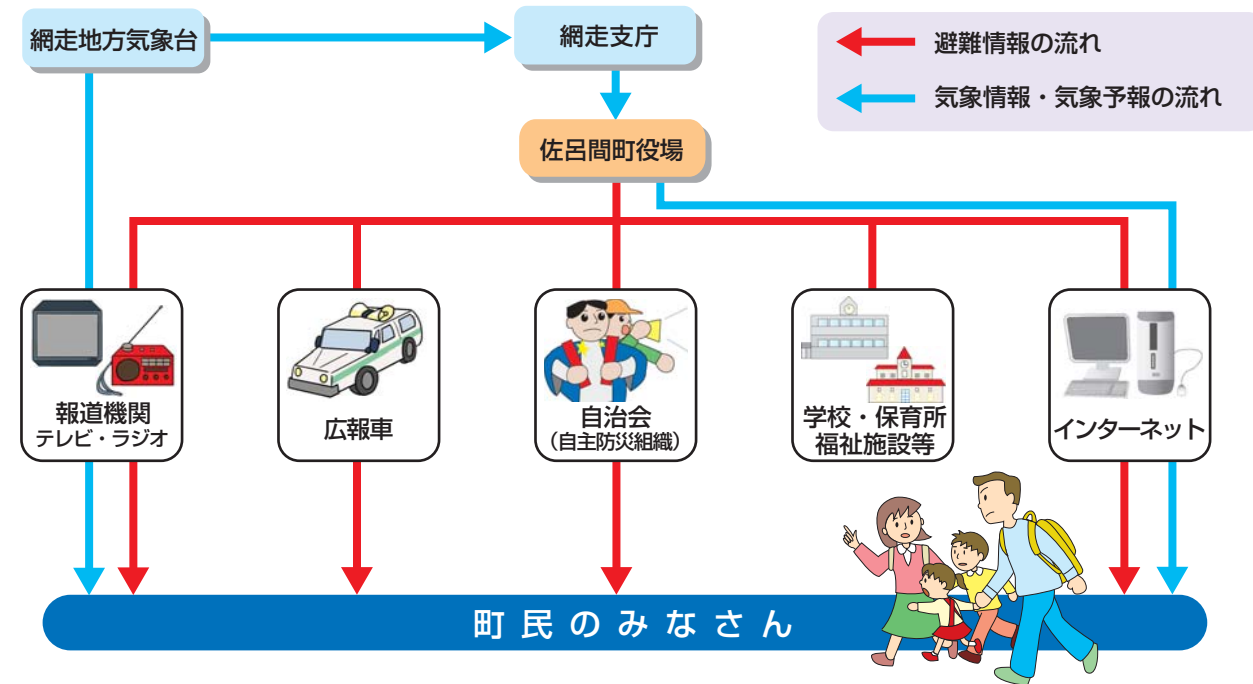


最新の気象情報などをチェックし、警報や警戒情報などが発令されたら、避難準備をしてください。

特に浸水想定区域や土砂災害危険箇所が身近にある場合には、早めの避難が重要です。

避難情報の流れ

災害に関する情報は、下図の経路で町民のみなさんに伝達されます。これらに注意し、すみやかに避難できるように心がけましょう。



避難情報	発令時の状況	町民のみなさんがとるべき行動
小 危 険 度 大	避難準備	人的被害の発生する可能性が高まった状況。 非常持出品の用意などの避難準備を開始。また、避難行動に時間を要する方は避難行動を開始してください。
	避難勧告	人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況。 通常の避難行動ができる方は、指定避難所へ避難行動を開始してください。
	避難指示	人的被害の発生する危険性が明らかに高まった状況。 避難勧告の発令で避難中の方は、確実に避難行動を完了させてください。避難に間に合わない方は、命を守る最低限の行動をとってください。



災害が発生する前に、早めの避難を心がけてください。
自然現象のため不測の事態も想定されるため、その時の状況に応じて避難行動をとりましょう。